

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズタウンかじやま			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2025年 10月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ~ 2025年 10月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 7日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々に合わせた提案ができること。	おやつの買い出し、お買い物学習、お手伝いなど。又、生活面で必要となることの練習をしている。	保護者様や学校と密に連携し、全ての場所で共有を図るようにしている。
2	個々に合わせた課題や活動をしている。	宿題はもちろんのこと、課題として本人の状態に合わせたものを提案するようにしている。忘れていかないよう定期的に振り返りを行い、基礎の習得を目指す。又、理解しやすいよう個々のBOXにその日の分を入れたり、工程表や絵カードの活用を行っている。	保護者様や学校、又は担当スタッフから聞き取りをマメに行い、本人に入りやすい内容に変更するなど定期的に見直しを行っている。
3	支援学校と支援級で完全にチーム分けしており、それぞれがスムーズに活動していること。	(支援学校) 平日は学校終わりの疲れを考慮し、イレギュラーな活動にならないようにしている。 (支援級) 不穏にならないことを第一とし、本人の好む活動の提案を心かけている。	悪天候の日の外活動や室内での活動、外出プログラムが固定化されないよう常に情報に敏感しているようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	近隣から騒音の苦情が入っている為、室内で盛り上がりたり、のびのびとした活動が長時間できない。	家どうしの距離が近いこと。 児童の声や音に慣れていない方が理解しにくいということ。 住宅地で活動をしていること。	今まで防音についての対策は、借家で出来る限りのことをしたので今後は弁護士にも入ってもらう用意をしつつ、出来ることの努力を続けていく。
2	賃貸の一戸建て住宅のため、バリアフリー化や階段に手すりをつける等が難しい。	賃貸物件という点。	足元の弱い児童は1階を利用してもらうようにしている。段差において必ずスタッフが付き添うようにしている。
3	母体の大きい放デイに比べるとHPが地味だったり、広告が出ていないので、認知度が低いこと。	会社はHPや広告について積極的に考えておらず、口コミを重視しているか。	しっかり児童を見守り、保護者様に寄り添って、安全で楽しい放デイを目指すことで評判が広がるよう努力していく。